

## 受賞団体の活動及び評価の概要

## ＜農林水産大臣賞＞ — 総合的に優れた取組 —

鞍掛山麓千枚田保存会（愛知県くらがきさんろく 新城市しんしろ）

棚田全体をビオトープとして、地域に生息するモリアオガエルなどの希少種をはじめとした豊かな自然環境の保全・再生活動に取り組み、農作業体験や自然観察会等を通じて都市との交流や企業との連携を図り、棚田のすばらしさを多方面に発信している。

棚田保全活動を発展させ、自然環境を活かした都市・企業との連携交流を図るなど活動内容の幅・質が、総合的に特に優れている点が評価された。



鞍掛山の麓に広がる千枚田全域がビオトープ



小学生に田んぼや生きもの大切さを伝授

## ＜農林水産省農村振興局長賞＞ — 農業・農村振興、地域づくりに向けた取組 —

たかしま有機農法研究会（滋賀県たかしま 高島市）

20代の若手農業者を中心に、生きものとの共生を目指しており、会員農家が「自慢の生きもの」を設定し無農薬・無化学肥料による「たかしま生きもの田んぼ米」の栽培面積を増加させ、農村地域に普通に見られる生きものとともに多くの絶滅危惧種の生息環境を保全している。

生きものとの共生した水稻栽培を通じた消費者との交流、生きものブランド米の取組等が優れている点が評価された。



水路や田んぼで地元小学生と生きもの調査



無農薬栽培の収穫時にはサギが多数飛来

## ＜環境省自然環境局長賞＞ — 自然生態系の保全・再生に向けた取組 —

佐渡トキの田んぼを守る会（新潟県さど 佐渡市）

農業者が中心となって、27年ぶりに佐渡の大空に羽ばたいたトキの生息環境を復元するため、トキの主な餌場である水田での生態系の再生を目的に、冬水田んぼや魚道の設置、無農薬・減農薬栽培による生きものを育む栽培に大規模に取り組むほか、トキ米の提供による食育活動等に取り組んでいる。

トキとの共生型農業の拡大を目指した調査や栽培技術の普及、トキブランドによる食育の取組が優れている点が評価された。



トキ米の生育期間中は定期的に生きものを調査



生きものへ避難場所（江）を提供

## ＜子どもと生きもの賞＞ - 子供たちの環境教育への取組 -

### 愛媛県立伊予農業高等学校 伊予農希少植物群保全プロジェクトチーム(愛媛県 伊予市)

老朽ため池の改修に当たって、堤体法面に自生する希少種(カワラケツメイ)等の植物を保全するため、農業高校生が改修前に採苗し、改修後に移植するとともに、草刈りや火入れ等の除草作業を通じた希少植物の管理方法の調査などに取り組んでいる。

希少種と多様な植物群落両者の保全を目指す取組が、農業と環境の関係を見直す環境教育として優れている点が評価された。



管理作業の違いによる植生の差を調査



堤体法面における火入れによる除草作業

## ＜パートナーシップ賞＞ - 多様な主体が連携した取組 -

### TAPPO南魚沼やまとくらしの学校(新潟県 南魚沼市)

地域住民とNPO法人が協働で、日本の中山間地に残る、環境と調和した暮らしを支える知恵と技を持つ持続可能な社会づくりに活かす教育・実践活動を行うため、都市住民を対象に地域の豊かな自然や食などを活用した休日農業講座等に取り組んでいる。

環境教育を行う都市部NPO法人と集落内組織(自治会、農業生産法人、PTA等)の連携した取組が優れている点が評価された。



休日農業講座「田んぼのイロハ」の草取り実習



手間のかかる棚田の草刈りもアートに大変身

## ＜オーライ!ニッポン賞＞ - 都市と農村の共生・対流によって実施している取組 -

### 特定非営利活動法人 つくば環境フォーラム(茨城県 つくば市)

都市住民の協力の下に、「生きものと共存する米づくり」を通じて谷津田の健全な生態系の維持に取り組む、ホトケドジョウやタガメなどの絶滅危惧種の保全や、周囲の雑木林の伐採・間伐・植林、間伐材等を薪として有効に利用するなど森づくりの活動などに取り組んでいる。

谷津田の保全・再生に都市住民(特に企業ボランティア)が多く参加し、地域住民との交流の視点から優れている点が評価された。



ビオトープ池での生きもの調査



都市住民が参加して谷津田の田植え

＜朝日新聞社賞＞ — 活動内容が幅広く、社会的貢献度が高い取組 —

特定非営利活動法人 <sup>おおぎみ</sup> 大宜味つばきの会 (沖縄県 <sup>おおぎみ</sup> 大宜味村)

やんばるの里山に生息するツバキ類群生地の保護を通じて、里地里山全体の有用植物の保護による再生を目指し、群生地の調査、林内整備、母樹の選定、苗の栽培等に取り組むとともに、椿油や木炭などの副産物を含めた特産物の育成に取り組んでいる。

原種ツバキの保全・再生を通じたやんばるの里山再生の取組が、社会的貢献の視点から優れている点が評価された。



ツバキの群生地を創生するための植樹



都市住民などと一緒につばきの里づくり

平成 21 年度田園自然再生活動コンクール受賞地区位置図

